

生活科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> 朝顔の栽培では、すすんで世話をする姿が見られたが、教師に声をかけられないと世話をしないときもあった。生活の中での体験や気づきを基に考えることが少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動が制限され、1年生や町の人との交流が行えず、人との関わりが学年内に限られたため、自分以外の意見や考えを知る機会が減った。集団活動や異年齢交流の経験不足を感じる。 				

2 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、身近な人々や自然と関わる機会を増やし、児童が興味のあることやこれまでの経験を学習に結び付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ方やまとめ方、インタビューの仕方など具体的な方法を、人との関わりを通して、多く経験させる。また、他教科と関連付け、一体的に取り組む。 				
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 国語科で学んだ観察の視点を生かして観察したり表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン活用や読書活動を通して、試行錯誤できる環境を整える。 				
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活やこれまでの体験と結び付けて考えさせ、気づきが広まるような発問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりを大切にし、友達のよさや自分のよさを感じられるように、発表の場を多く設ける。 				

※太枠内は、特に重視する内容